

農業振興計画等と学校給食との関係一覧

	計画等の名称	事業期間	学校給食の位置づけ	自給率等の具体策
東京都	農業振興プラン	2017年度から概ね10年後	○都内産農畜産物の地産地消の拡大 ・学校給食への供給拡大	—
目黒区	産業振興プラン (うち農業振興プラン)	2019年度から概ね10年間	—	—
大田区	農家基本調査	2019年8月1日	—	—
世田谷区	農業振興計画	2019年度から概ね10年間	地産地消、食育の充実を目指し、小中学校への区内産農産物の情報提供などを通じて、学校給食での活用を促進	—
杉並区	産業振興計画	2019～2021年度	学校給食・区内飲食店への食材提供や生産者の顔が見える販売方法、地産地消マーケットの展開など、杉並産農産物と消費者の食卓を積極的に結びつけていく	—
荒川区	『復活！あらかわの伝統野菜』	第10号まで発行	—	—
板橋区	産業振興事業計画 2018	3年後に改定	・学校給食への野菜の供給（ふれあい農園会） 【3年間の事業量又は3年後の到達点】 学校給食出荷農家戸数の維持 (現状：8戸)	—
練馬区	農業振興計画	2011年度～2020年度	現在HPをみられない（2020年2月27日）	現在HPをみられない（2020年2月27日）
八王子	農業振興計画	2016年度からおおむね10年後	学校給食などへの利用拡大の推進	旬の農産物ができる限り多く学校給食の食材として利用されるよう、品目・出荷量の拡大、品種の統一、出荷者の拡大を目的に学校給食への供給量増を図る
立川市	農業振興計画	2015年度から2019年度までの5年間	学校給食に立川産の農産物を使用し、子どもたちや各家庭に立川産農産物をPRする。	—

武蔵野市	農業振興基本計画 (平成23年改定版)	2006年度から 2015年度まで 10 年間	学校・保育園給食への食材の提供 (2016年度以降の計画は委員会が設置さ れたが計画は策定されていない)	—
三鷹市	農業振興計画2022	2011年度から 2022年度までの 12年間	学校や保育園等で給食に地域の農産物を 使用し、「地産地消」を推進する	—
青梅市	農業振興計画	2016年度から 2025年度の10年 間	学校給食における地場農産物の活用と啓 発	—
府中市	農業振興計画	2015年度から 2021年度まで	○学校給食への出荷拡大を進めるととも に、農業者と給食センターとの意見交換 会を実施 ○学校給食に府中産農産物が使われてい ることをPR	—
昭島市	産業振興計画 農業部門詳細編	2017年度から 10年間	学校給食における地場農産物の利用促進 や食育の推進を進める	—
調布市	農業振興計画 (素案)	2020年度から 2029年度までの 10年間	学校給食における市内農産物の活用の推 進	—
町田市	農業振興計画	2017 年度から 2026 年度までの 10 年間	・小学校と農業者をつなぎ、給食への安 心安全な市内産農産物の供給量の増加と 食育の推進を図る ・学校給食コーディネート体制の構築・ 契約栽培、配送方法を検討	—
小金井市	農業振興計画	2011年度から 2020年度までの 10年間	食育の推進 学校給食への利用拡大	—
小平市	農業振興計画	2018年度から 2027年度までの 10年間	○小平産農産物の学校給食利用と食育推 進プログラム ○小平産農産物の利用率を高めるための 仕組みづくり	①給食食材の規格・形状の情報交換と一 次加工の検討 ②生産者側と学校側の情報共有 など

日野市	第3次日野市農業振興計画・アクションプラン	2014年度から2023年度までの10年間	学校給食への地元農産物供給率の向上に向けた供給システムの充実	利用率25%目標 ①供給用農地拡大支援、②供給農家の拡大、③農産物運搬への支援、④契約栽培の品目拡大、⑤学校給食コーディネーター制度の更なる充実
東村山市	第2次農業振興計画	2011年度から2020年度までの10年間	学校給食や福祉関係施設の給食への供給拡大、農業者と関係組織が連携した仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食運営組織等の充実 ・地場農産物の全校利用の拡大 ・注文、生産、納品体制の充実
国分寺市	第三次国分寺市農業振興計画	2025年度までの10年間	学校給食等における食育・地場産野菜活用の推進	教育委員会や栄養士、市内農家と連携し、市内農畜産物の利用を促進
国立市	第3次農業振興計画	2017年度から2026年度までの10年間	○学校給食への地場農産物の供給 ・より多くの農家が参加できる仕組みの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に国立産農産物の活用を図り、供給農家との交流を促進する。 ・農業体験の機会を設け、食べ物の生産過程を理解し、食や農業の大切さを学ぶ
福生市	農業振興計画	2011年度から2020年度までの10年間	学校・施設への地場産野菜の供給	学校給食での福生産農産物の利用促進
狛江市	第3次農業振興計画	2018年度～2027年度の10年間	保育園、学校給食への地場産野菜の供給	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産活用のPR ・供給率の拡大
東大和市	第三次農業振興計画	2018年度～2027年度	学校給食における地場産農産物の活用と啓発の継続	
清瀬市	第3次清瀬市農業振興計画	2017年度～2016年度	学校給食への拡充	関係機関等と流通システムの構築の検討し、市内小中学校における地場産野菜の拡大を図る
東久留米市	農業振興計画（平成28年3月版）	2016年度から2025年度までの10年間	学校給食による地場農産物の利用拡大の検討	学校給食供給への仕組みづくり
武蔵村山市	第3次農業振興計画	2018年度～2027年度	学校給食への市内産農産物の利用拡大	市内産農産物を学校給食に積極的に取り入れるとともに、学校を通じて、市内産農産物が多く利用されていることを周知

多摩市	都市農業振興プラン	2019年度～2028年度	学校給食等への供給	学校給食等への供給の拡大
稲城市	第三次稲城市農業基本計画	2011年度から2020年度	学校給食に供給する市内産農産物を広くPRすることで、地産地消に対する理解を深めるとともに、提供農家への支援を強化し、地産地消の拡大を図る	
羽村市	産業振興計画（農業の振興）		食育の推進－学校教育等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育等との連携を強化し、供給・流通体制の充実を図る ・小学生の稲作体験や中学生の農家への職場体験などを通じ、食育の取り組みを進める
あきる野市	農業振興計画（変更）	2016年度からおおむね10年間	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食等での地場産農産物の使用を維持拡大していく ○学校給食でイベント的な完全地元産農畜産物使用について検討・協議する 	
西東京市	第2次西東京市農業振興計画	2014年度～2023年度	学校給食との連携	市内産農産物の利用の拡充や食育等に関し、学校の栄養士と農業者の意見交換会を定期的開催

※ 各自治体のHPをもとに伊藤作成（2020年3月16日現在）